

令和4年度第3回経営協議会議事要録

日 時 令和4年10月19日(水)10時00分～11時56分
場 所 宇都宮大学本部第一会議室
出席者 池田, 飯村, 大川(容), 角, 松下,
藤井, 吉澤, 横田, 佐藤, 鈴木の各委員
陪 席 溝口監事, 松金副学長,
原田地域デザイン科学部副学部長, 中村国際学部長, 加藤共同教育学部長,
入江工学部長, 山根農学部長

議事に先立ち, 令和4年度第2回経営協議会議事要録(案)を確認し, 承認した。

[審議事項]

1. データサイエンス経営学部(仮称)設置について

吉澤理事から, 資料1に基づき, データサイエンス経営学部(仮称)設置について説明があり, 審議の結果, 原案のとおり承認した。

(主な意見)

・想定される職業・進路が学系ごとに分かれているが, 実際に企業が求めている人材が逆の場合も想定される。また, 就職後, 理系文系の垣根は乗り越えられているのが現状かと思う。理系文系にとらわれず, 幅広い職業を想定して進めていただきたい。

・企業では諸課題が山積しているため, データを分析して理論的に提案できる人材を必要としている。新学部において, そういった学生の輩出を, 地元企業としても非常に期待している。

(本学: 分野ごとの業種については, 他の場でもご指摘をいただいている部分であり, 再度検討させていただきたい。本学の想定として, 文系受験で入学してきた学生がデータサイエンスに進むケースや, 理系だと思っていた学生が, 学修していく中で経営学に進みたいといったケースが出てくることを期待している。どちらの学生も到達点が一つになるよう授業設計を進めていきたいと考えている。)

・経営学について, 経営は机上の空論ではなく, 実践的な経営学が重要と考える。客員教員として, 地元の企業を活用してみたいか。

(本学: 実務家教員については, 「社会実装基礎演習」というカリキュラムを予定しており, 実際に地元の企業の方にご協力いただきながら, 授業を進めていく計画を立てているところである。)

・アドミッション・ポリシーとしても一部記載されているが, 起業についてはニーズが高いことを踏まえ, 意欲のある学生に対し, 起業家精神について全面的にアピールされてはいかがか。

(本学: 新しい学部では, 起業家精神がひとつのよりどころになると思っており, そのためのカリキュラムマップも検討を重ねているところである。一方で, 新学部に限らず, 全学的にも起業家精神を担える教員の採用計画についても進めているところである。)

2. 国立大学法人ガバナンス・コード報告書について

総務部長から、資料2に基づき、国立大学法人ガバナンス・コード報告書について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

3. 職員給与規程の一部改正について

総務部長から、資料3に基づき、職員給与規程の一部改正について説明があり、審議の結果、資料を一部修正のうえ原案のとおり承認した。

(主な意見)

・未来塾の講師手当について、学外から見ると、宇都宮大学の教員が講師を務めるのは当たり前だろうと感じる部分がある。手当がなくとも、学内構成員が自ら参画したくなるような魅力あるプログラムにしていきたいと思う。

(本学：未来塾の講師は、本務である通常の授業とは異なり、準備にかかる時間等の負担も大きいことから、付加的な業務であることを勘案し、今回講師手当を新設させていただくものである。また、プログラム内容についても、随時見直しを図っていきたいと考える。)

4. 任期付教員等の育児休業等取得に係る雇用延長期間の見直しについて

総務部長から、資料4に基づき、任期付教員等の育児休業等取得に係る雇用延長期間の見直しについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

5. 国立大学法人宇都宮大学職員の育児休業等に関する規程の見直しについて

総務部長から、資料5に基づき、国立大学法人宇都宮大学職員の育児休業等に関する規程の見直しについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

(主な意見)

・男性の出生時育児休暇の取得率が低い背景として、ハラスメントとして例があるとおり、現実的に無言の圧力があると企業でも想定している。これを解消することが必要で、ハラスメントに関する教育・対策が重要と考える。

・もう一つの問題として、同僚に迷惑がかかるから取得が難しいと考える背景があると思う。休んだ人以外の者の負担が増えることで不利益を被る人の立場に立ち、上長のマネジメントが重要となる。そのマネジメントがしっかりできると、ハラスメント対策自体が不要となるので、是非この点についても重要視して進めていきたい。

(本学：今後重要視する部分として認識しているところである。今までとは異なるコンセンサスを醸成していくことが大切だと感じており、十分に検討し、進めていきたいと考えている。)

[報告事項]

1. 令和3年度監事監査における意見、指摘事項等への取組状況について

学長から、資料6に基づき、令和3年度監事監査における意見、指摘事項等への取組状況について報告があった。

2. アクションプラン2022-2027 達成ロードマップに基づく令和4年度計画の実績報告（中間）について

藤井理事から、資料7に基づき、アクションプラン2022-2027 達成ロードマップに基づく令和4年度計画の実績報告（中間）について報告があった。

以上